Peace（ピース）

Team Shiroyama

Peace 飛び交う、日本一楽しい学校をつくろう！

HP https://www.nagasaki-city.ed.jp/shiroyama-e/

令和８年１月８日

学校だより第９号

校長　宮田　幸治

新年 あけましておめでとうございます！

３学期が始まりました。子供たちの様子から楽しい冬休みを過ごした様子がうかがえます。にぎやかな学校の姿が戻ってきました。校長の恒例の宿題である「死ぬな！生きろ！やらかすな！」は、子供たちの返事で判断すると、大きな事故やけがもなく、全員が元気に、やらかすこともなく（？）３学期最初の今日を迎えたようです。

年末から新年にかけて例年になくにぎやかに過ごしました。普段は夫婦２人で穏やかな生活のところに、横浜、沖縄、長崎に散らばっている３人娘＋孫娘が揃い、5.1 サラウンドの立体音響並みにおしゃべりが続いていました。常日頃から私と接する孫娘は「じっじこっちに来ないで！」と言い、めったに会わない遠方に住むおばさん２人と楽しそうに過ごしています。「？？？？」母親となった娘に「なんでかな？」と聞くと、普段から３人娘＋孫娘はグループビデオチャットで通話していた模様です。私と顔を合わせる機会よりも、グループビデオチャットでお話しすることが頻繁に行われていて、あたかも毎日会っている感じになっているようでした。昔、未来の家の様子がテレビで映し出された時、壁にかかった大型 TV の画面越しに通話する場面があったことを覚えていますが「もうすでにそんな世の中になっているんだなあ。」「孫娘が小学生になったら ICT 機器を存分に使うことができる学習をするんだろうなあ。」と改めて感じたところです。

現在、教育の世界では、中央教育審議会において「次期学習指導要領改訂に向けた内容の検討」が行われています。この改訂は、子供たちが大人になった時に一変すると言われる 2040 年の世の中の状況を見通しながらそれに対応するために身に付けておく必要があると思われる力を再構成し、現行の学習指導要領の課題を踏まえて行われるものです。子供たちが大人になった時は…と予測されている世の中の状況をちょっとだけ紹介します。

- **「1100 万人の人手不足」社会。深刻な人口減少により、これまでの「当たり前」のサービスが維持できなくなる。**
- **「AI との共生」が当たり前に。生成 AI の進化により、事務や販売などの仕事が自動化。人間にしかできない「創造性」が価値を持つ。**
- **「正解のない」時代に。気候変動や技術革新により、予測不能な変化が連続する。**
- **「人生 100 年」学び続ける力。学校での学びは「ゴール」ではなく、一生学び直し続けるための「土台」に。**

こんな予測から、これからの学びは、知識の量よりも「自ら問いを立てる力」「多様な他者と協働する力」、そして AI を使いこなす「人間ならではの感性」が必要になると言われています。また、「情報活用能力」の向上も必須です。これからの時代に求められる「情報の扱い方」として、「情報の目利き（選択・吟味）」：AI が作った嘘や偏った情報を見抜き、正しい根拠に基づいた情報を取捨選択することや、「課題解決への活用（デザイン）」：ICT 機器を、単なる調べ物ではなく、自分の考えを形にし、他者へ発信するための「道具」として使いこなすこと、「情報モラルと自律」：SNS のトラブル回避や著作権への配慮など、デジタル社会の市民として責任ある行動をとることが大きなカギです。

全国の各学校の教育の質を担保するために学習指導要領は法的拘束力があり、学校のすべての教育計画はこれに沿って立案することとなっています。次年度中に新学習指導要領の内容の議論が終わり、３年間の移行期間を経て各小学校は令和 12 年度から完全実施となる予定です。

本校では、今年度の長崎県教育委員会「子供の体力向上実践モデル研究校」の取組を引き継ぎながら、長崎市教育委員会「体育科授業改善研究校」と文部科学省「教育課程柔軟化サキドリ研究事業実践研究校」の指定を受けて、授業改善及び柔軟な教育課程の編成・実践に取り組む予定です。1 単位時間の変更や日課表の変更、探究学習の設定や子供の課題解決力等の向上を目指した取組などを行っていくことを検討しているところです。研究指定校の決定がありましたら詳細についてお知らせします。

今年も、本校教育活動に対しましてご理解とご協力をお願いいたします。